

# 鹿児島県柔道会だより

■発行人/北 哲郎 ■編集/総務部編集委員会 ■発行/財団法人鹿児島県柔道会 (電話 099-222-7770)

## 平成17年度を顧みて

会長 北 哲郎



はじめに

平成17年度は、役員の変更に伴う大幅な組織改革と事務局書記の採用等、当初、模索の状態が続き役員や各支部の皆様に変惑をおかけしましたが、慌しく一年も終わったような気がします。その間、想定外の事柄等も発生致しましたが、皆様方のご協力とご支援のお蔭を持ちまして、かなりの成果をあげることができ心より喜んでおります。

### ○ 平成17年度の事業概要

#### 1 総務部関係

- ・ 5月 指導者講習会
- ・ 「柔道会だより」の発行(年3回)
- ・ 広報活動 役員、指導者への送付
- ・ ホームページ開設準備 表彰の推進
- ・ 審判技術の向上

#### 2 事業部関係

- ・ 総会資料、大会要項等の見直し
- ・ 大会事業の拡充
- ・ 少年競技者の育成(低年齢層)
- ・ ジュニア他、各出場枠の拡充
- ・ 県柔道選手権大会の広告の推進

#### 3 審議部関係

- ・ 昇段試験の推進
- ・ 高段者の掘り起こし、昇段の推進
- ・ 「形」研修会、毎月1回本部で実施

#### 4 登録部関係

- ・ 指導者登録、競技者登録の推進
  - ・ 高段者(指導者)の掘り起こし
- 5 強化部関係
- ・ 少年柔道の推進
  - ・ 中学校選抜強化練習の実施(月1回)
  - ・ 中高一貫強化練習
  - ・ 甲陵高校の金鷲旗、高校総体での活躍
  - ・ 藤山選手(県警)の全国警察官柔道大会(個人66kg級)での優勝
- 6 ルネッサンス活動の推進
- ・ 各種大会において、ルネッサンス活動についての指導・啓発

おわりに

平成17年度は、県柔道会の組織を大幅に改革し各分野の任務分担を明確にし、それぞれの責任において推進した結果、各分野においてかなりの実績をあげることができました。

今年度も「柔道王国鹿児島」の再興を期し、「競技力向上」を最重点とし、また、人間教育としての柔道、礼節を重んじ、立派な柔道人の育成に取り組んでまいりますので、関係者の皆様のご協力をお願い申し上げます。

### ○ 支部役員の一部変更

評議員	鹿児島市	宮久保美鈴	⇒	田原幸一
				(県中体連柔道専門委員長)
同	南薩支部	籠原憲男	⇒	野澤好則
				(枕崎市柔道会副会長)
同	阿久根支部	佐々木保法	⇒	松永頌利
				(阿久根市柔道会理事長)
同	出水支部	山下光春	⇒	鶴田均

以上の、4支部より評議員の変更届けがありました。なお、新評議員の任期は平成18年4月22日より平成19年3月31日までとし、前任者の残任期間となります。

## ○ 平成18年度定期総会開催

平成18年度の財団法人鹿児島県柔道会の定期総会が、4月22日土曜日、鹿児島市のアクアガーデンホテル福丸において理事・評議員が出席して行われた。

理事会は北哲郎会長、評議員会は矢野希南薩支部長が議長となり議事が運営されたが、例年になく出席者も多く盛会裡に閉会した。

総会終了後、柔道功労者等の表彰があり、個人10名と1団体が表彰された。

## 《被表彰者》

## (1) 柔道功労者 3名

- ① 田原幸男氏(肝属支部) 支部役員、県評議員等を歴任、西侯柔道スポーツ少年団の設立など
- ② 田中五月氏(阿久根支部) 三笠柔道スポーツ少年団指導で県・九州大会等個人1位の実績
- ③ 房永満亘氏(奄美支部) 奄美柔道会副会長、県評議員、全柔連女子強化合宿の誘致等

## (2) 地域振興指導者 2名

- ① 宮路泰次氏(出水支部) 30年振りに長島町柔道会を復活するなど地域振興に貢献
- ② 竹田正博氏(曾於支部) スポーツ少年団や末吉・南之郷中学校など指導。成績顕著

## (3) 優秀団体 1校

- ① 甲陵高等学校柔道部 金鷲旗大会や全国高校総体団体戦における上位入賞等

## (4) 優秀監督賞 1名

- ① 和田茂市氏(甲陵高等学校柔道部監督) 九州高校総体団体優勝、全国高校総体団体3位、金鷲旗大会での活躍等

## (5) 優秀選手賞 2名

- ① 藤山順臣氏(県警機動隊) 全国警察柔道選手権大会(66kg級)で優勝
- ② 山口 愛さん(鹿児島南高校) 全国高校総体柔道女子個人戦(52kg級)で2位

## (6) 感謝状 2名

- ① 谷川宇一郎氏 東京より郷里鹿児島に帰郷後、県柔道会の事業等に理解を示され、物心両面の支援を頂いた。

## ② 川井田浩氏(医療法人青雲会理事長)

全柔連、県柔道会の事業推進に協力、自らスポーツ少年団設立、青少年育成に多大の功績

## 《受賞者の声》

## ○ 谷川宇一郎氏

今回、思いもよらぬ感謝状を県柔道会より頂き、非常に恐縮するとともに喜びに堪えません。これも皆様方のご協力ご尽力と、石原・中・法元各師範の頃からの柔道に対する情熱と愛着の賜物ではないかと思えます。

毎年、講道館や日本武道館での柔道選手権など見学してきましたが、積極的に前へ出て動き回ることが、よい試合につながるようです。

地方では、熱心な指導者がいる反面、指導者の数が足りないような感じを持ちます。そのために、できるだけの支援を今後も続けたいと思います。県柔道会の隆盛を祈念しながらお礼を申し上げます。

## ○ 和田茂市氏

この度の鹿児島県柔道会からの表彰(団体・甲陵高校及び個人・和田茂市)につきまして、皆様方に温かいお心遣いを頂き、誠に有難うございました。

長年の教員生活の中で、いつ、いかなる場面においても生徒たちと正面からぶつかり、全身全で柔道指導及び人間形成に努めてまいりました。その甲斐あって鹿屋農業高校時代には九州制覇、現在の甲陵高校では鹿児島県勢として実に30年振りの全国3位という結果を残すことができました。

このことは、選手自身の努力は勿論のことですが、選手を支えてくださった方々、特に県柔道会の皆様方のお力添えなしには成し得なかったこととございます。心より感謝申し上げます。

今後も鹿児島県柔道会の発展のために微力ながら努力・精進していく所存でございます。これからも尚一層のご指導ご鞭撻を下さいますようよろしくお願い申し上げます。

## 講道館『形』講習会

120名参加 鹿児島アリーナ

講道館の「形」講習会が5月13日(土)鹿児島アリーナの武道場で、約120名が参加して盛大に行われた。これは、講道館が形を正しく普及しようというもので、毎年、全国各地で実施されている。

今年度は、福岡、熊本、宮崎、沖縄からの参加者もあり、受講者は、それぞれの形に分かれて熱心に受講した。

講師は、講道館から派遣された4名の先生方で、  
「五の形」警視庁柔道主席師範福島美智男八段  
「講道館護身術」早稲田大学教授小野沢弘史八段  
「固の形」神奈川県警柔道主席師範宗義明八段  
「投の形」筑波大学教授小侯幸嗣七段

四つのグループの中でも、講道館護身術は、六段受験に必須の形とあって受講者が殺到し50名を超える盛況さであった。



小野沢弘史八段(手前左)が「講道館護身術」を指導 ー鹿児島アリーナ武道場

嘉納治五郎師範は、乱取りと形の関係を、国語における作文と文法に例えられた。文法が解らなければ作文は書けないの理屈である。

現在、全日本「形」選手権大会も回を重ね、近い将来、世界「形」選手権も開催されるという。

夜は、4名の講師を囲んでの懇親会が開かれ、昼間に聞けなかったこと、聞き足りなかったことなどを質問したりして交歓の場が随所に見られた。

また、郷土の大先輩松下三郎先生や沖縄県柔道会会長の比嘉吉憲先生も錦上花を添えて頂き出席者一同大満足の様子だった。(写真：南日本新聞社提供)

## 柔道指導者講習会

2日間で250名参加 県武道館

講道館「形」講習会の興奮冷めやらぬ16・17日、講道館道場指導部長の松下三郎先生を招いて「柔道を通じた人間教育」というテーマで講演を頂いた。

松下先生は、嘉納治五郎師範の柔道の理念である「精力善用・自他共栄」の精神、「柔道は、心身の力を最も有効に使用する道である。柔道の修行は、攻撃防御の練習に由って身体精神を鍛錬修養し、斯道の真髓を体得することである。そうして是に由って己を完成し世を補益するが柔道修業の究竟の目的である」を引例し、柔道は、相手に勝つことだけが目標ではなくて、お互いを尊重し礼節を重んじ、自己の人間性を高め社会のために役立てることだと「自他共栄」の必要性を強調、教育柔道の普及を熱っぽく語られた。



県内の柔道指導者を前に講演する松下三郎さん ー16日、鹿児島市(与次郎)1丁目の県武道館

また、鹿屋体育大学の浜田初幸先生による「国際柔道連盟試合審判規定について」の講義、柔道会役員による実技「投の形」、「柔の形」、「講道館護身術」、「固の形」や講義「講道館柔道試合審判規定」などが行われ、最後に、高段者試合を実際に審判しながらの審判法の研究が行われた。

県柔道会では、二つの大きな講習会を終了したが参加者も多く、最初から最後まで時間一杯、受講者が熱心に受講したことも含め、指導者の意識の変革を確かな手応えとして受け止め、関係者一同心から喜んでいる。(写真：南日本新聞社提供)

《試合報告》 2~5月

○ 鹿児島県柔道選手権大会 2月5日

男子帖佐大輔・女子天保沙弥香が初優勝  
第16回県柔道選手権大会並びに第8回県女子柔道選手権大会は、鹿児島アリーナ武道場で開催され、選手権で県警の帖佐大輔が刑務所の宮原良二(12・13回大会優勝)に優勢勝ちして初優勝を飾った。

また、女子選手権は、鹿屋体育大学同士の決勝となったが、天保沙弥香が前年度優勝の松井陽子を優勢勝ちで破り初優勝した。

《県柔道選手権大会成績》

- 優勝 帖佐大輔(鹿児島県警)
  - 2位 宮原良二(鹿児島刑務所)
  - 3位 湯又真哉(鹿児島県警)
  - 3位 濱田敏徳(鹿児島県警)
  - 5位 田之上健(鹿児島県警)
- ※ 上位4名は九州柔道選手権大会に出場

《県女子柔道選手権大会》

- 優勝 天保沙弥香(鹿屋体育大学)
  - 2位 松井陽子(鹿屋体育大学)
  - 3位 浦田恵利(鹿屋体育大学)
  - 4位 大迫遥香(鹿児島南高校)
- ※ 上位2名は九州女子柔道選手権大会に出場

○ 県下中学校柔道新人大会 2月19日

(法亢保晴杯争奪戦)

《団体戦》

- 優勝 鹿屋東中学校
- 2位 川内中央中学校
- 3位 志布志中学校
- 3位 阿久根中学校

《男子個人戦》

- 優勝 山田泰裕(第一鹿屋中学校)
- 2位 児玉裕世(阿久根中学校)
- 3位 土屋 潤(伊集院中学校)
- 3位 長谷川大樹(財部中学校)

《女子個人戦》

- 44kg級 優勝 瀬戸口 彩(川内中央中)

- 2位 瀬戸口愛海(阿久根中)
- 3位 児玉千春(末吉中)
- 3位 前原由貴(帖佐中)
- 48kg級 優勝 大木千佳(山川中)
- 2位 鮫島佑梨子(末吉中)
- 3位 東中川あゆみ(桜山中)
- 3位 斉藤あすか(阿久根中)
- 52kg級 優勝 安達莉穂(鹿屋東中)
- 2位 大町田光(中種子中)
- 3位 新村夏美(松元中)
- 3位 脇田優子(里中)
- 57kg級 優勝 鎌田奈七(中種子中)
- 2位 富濱綾香(阿久根中)
- 3位 松下梨沙(山川中)
- 3位 堀内菜月(末吉)
- 63kg級 優勝 古賀ちなつ(山川中)
- 2位 上松瑞穂(阿久根中)
- 3位 長野希美(榕城中)
- 3位 小原希実(川内中央中)
- 70kg級 優勝 岡村桃子(別府中)
- 2位 田中アリサ(帖佐中)
- 3位 赤沙耶香(阿久根中)
- 3位 浜崎美菜(山川中)
- 70kg超級 優勝 烏帽子美久(榕城中)
- 2位 吉野 光(高尾野中)
- 3位 豊永祥子(大隈中)
- 3位 入来田彩夏(吉野中)

○ 県下少年新人柔道大会 2月26日

(第26回全国大会予選・法亢保晴杯争奪戦)

- 優勝 末吉柔道スポーツ少年団(曾 於)
- 2位 志布志柔道スポーツ少年団(曾 於)
- 3位 双葉柔道スポーツ少年団(熊 毛)
- 3位 三笠柔道スポーツ少年団(阿久根)

《決勝戦》

- 末吉 3 - 1 志布志
- 大将 竹下 ○ 横四方 △ 中川
- 副将 古藤 ○ 大外刈 △ 室中
- 中堅 桐野 △ 大内刈 ○ 菅間
- 次鋒 富永 ⊖ 優勢勝 △ 田原
- 先鋒 中西 × 引分け × 池平

○ 全国高校選抜大会 3月21日

甲陵、強豪桐蔭を破る

2005年度の全国高校選抜柔道大会は、3月21日東京の日本武道館で開催されたが、県代表の甲陵高校は、1回戦山形代表の羽黒高校を、2回戦では、前回優勝の神奈川県代表の強豪桐蔭高校を1人残して勝ち3回戦へと駒を進めたが、千葉県代表の東海大浦安に惜敗した。

なお、女子の鹿児島南は宮城県代表の東北高校に善戦したが1回戦、1対2で惜敗した。

○ 九州選抜中学校柔道体重別大会

中学校選抜が九州制覇 4月1日

福岡市民体育館で開催された第5回九州選抜中学生柔道体重別団体優勝大会において鹿児島県選抜チームが初優勝、福岡チームの5連覇にストップをかけた。この大会は九州各県代表の9チーム(福岡県は2チーム)が参加、1チーム7人で争う大会で3チームずつによる予選リーグ戦、3チームによる決勝リーグ戦を戦うもので、県選抜は予選・決勝リーグを無敗で優勝を決めた。

▽決勝リーグ

鹿児島 3 - 2 大分

下村	⊖	優勢勝	△	浜田
池田	⊖	優勢勝	△	安本
長谷川	×	引分け	×	田川
山田	⊖	優勢勝	△	久寿米木
富山	×	引分け	×	堤
兒玉	△	優勢勝	⊖	阿部
土屋	△	払腰	○	福本

鹿児島 3 - 2 福岡 A

下村	⊖	優勢勝	△	松田
池田	△	優勢勝	⊖	高上
長谷川	⊖	優勢勝	△	古田
山田	×	引分け	×	手嶋
富山	⊖	優勢勝	△	樋口
兒玉	○	背負投	△	宿輪
土屋	△	払腰	○	小田

○ 全国少年柔道大会 5月5日

竹下君個人2位 団体ベスト8

5月5日こどもの日に講道館で開催された講道館・全国少年柔道大会に曾於市の末吉柔道スポーツ少年団が出場し、団体戦ベスト8、個人戦では6年生の竹下恭平君が準優勝するなど大活躍をした。

○ 県高校総体柔道 5月24・25日

《男子団体戦》

優勝	甲陵高等学校
2位	鹿児島商業高等学校
3位	鹿児島工業高等学校
4位	鹿児島実業高等学校

《男子個人戦》

60kg級	優勝	濱田恵太	(鹿情報)
	2位	藤原了	(鹿情報)
	3位	山下銀治郎	(鹿工)
	3位	田中康平	(鹿商)
66kg級	優勝	山田琢己	(鹿商)
	2位	堅山剛	(鹿商)
	3位	鈴木和也	(甲陵)
	3位	古賀陽佑	(鹿南)
73kg級	優勝	池田敬介	(甲陵)
	2位	内田武三士	(鹿商)
	3位	南牙斗	(中種子)
	3位	溝口大	(鹿南)
81kg級	優勝	大王貴広	(鹿商)
	2位	内門卓也	(甲陵)
	3位	福康弘	(中種子)
	3位	榑木翔太	(鹿水産)
90kg級	優勝	中村宏也	(甲陵)
	2位	新平聖也	(甲陵)
	3位	相川翔太	(鹿商)
	3位	原園諒	(鹿商)
100kg級	優勝	藏菫光志	(甲陵)
	2位	森山孝一	(鹿情報)
	3位	松木克尚	(鹿工)
	3位	勝田光士郎	(鹿商)

100kg 超級 優勝 梶屋祐太 (中種子)  
 2位 田中 亮 (鹿 工)  
 3位 大野隆浩 (鹿 屋)  
 3位 坂中慎吾 (鹿 商)

《女子団体戦》

優 勝 鹿児島南高等学校  
 2 位 鳳凰高等学校  
 3 位 出水中央高等学校  
 4 位 中種子高等学校

《女子個人戦》

48kg級 優勝 豎山 優 (鹿 南)  
 2位 石寺美穂 (鳳 凰)  
 3位 瀬戸口はつき (れいめい)  
 3位 大野幸子 (鳳 凰)  
 52kg級 優勝 西菌裕弥 (鹿 南)  
 2位 高野望美 (出水中央)  
 3位 南 幸 (鳳 凰)  
 3位 堂崎歩美 (出水中央)  
 57kg級 優勝 吉元佳代 (鹿 南)  
 2位 山下りな (れいめい)  
 3位 遠藤静香 (鳳 凰)  
 3位 永田奏子 (鹿 南)  
 63kg級 優勝 上野まゆみ (鹿 南)  
 2位 新原みなみ (鳳 凰)  
 3位 東馬場とも子 (鹿 南)  
 3位 新平早紀子 (鳳 凰)  
 70kg級 優勝 東馬場未来 (鹿 南)  
 2位 口元涼子 (鳳 凰)  
 3位 福留めぐみ (鳳 凰)  
 3位 藤後あさみ (志布志)  
 78kg級 優勝 田代真莉奈 (鹿 南)  
 2位 山下みさと (鳳 凰)  
 3位 野瀬美幸 (れいめい)  
 3位 上菌 結 (鹿 南)  
 78kg 超級 優勝 抜元美穂 (鹿 南)  
 2位 上中別府宏美 (鳳 凰)  
 3位 高島夕紀 (鳳 凰)  
 3位 板床真由 (出水中央)

○ これからの大会予定 (6~9月)

6 月 (■ は県外大会)

3日 県ジュニア体重別選手権大会(九州予選)  
 4日 県下中学校柔道大会  
 10日 全国教員柔道大会選手選考会  
 10日 第19回警察少年柔道大会  
 11日 第21回九州少年柔道大会(九ちゃん杯)佐賀市  
 17日 第1回県下少年学年別柔道大会  
 17日 全九州高等学校柔道競技大会~18日・山鹿市

7 月

1日 国体選手選考会(少男・少女・成女)  
 9日 九州ジュニア体重別(男女)選手権・宮崎市  
 17日 都道府県対抗全日本女子柔道大会・岡山市  
 22日 国体選手選考会(成男)  
 22日 金鷲旗高校柔道大会~24日・福岡市  
 25日 中学校総体柔道競技~26日  
 30日 全国教員大会・秋田市

8 月

8日 全国高等学校総合体育大会~12日・堺市  
 12日 九州中学校柔道大会~13日・福岡市  
 19日 全国中学校体育大会~22日・高知市  
 19日 全国小学生学年別柔道大会~20日・富山県  
 20日 九州国体柔道競技・山鹿市

9 月

3日 県少年学年別錬成大会  
 3日 県青年大会  
 17日 県民体育大会柔道競技(薩摩川内市)

○ ホームページを開設しました

ホームページアドレス(小文字)

<http://kagoshima-judokai.com>

Eメールアドレス(小文字)

[kagoshima-judokai@y2.dion.ne.jp](mailto:kagoshima-judokai@y2.dion.ne.jp)

※ 行事予定・大会要項・申込書等ダウンロードされ活用ください。また、開設したばかりで不十分ですが不備な点等、ご意見をお寄せください。

○ 全日本少年武道(柔道)錬成大会の開催

期日：平成18年8月28日(月)~30日(水)

場所：鹿児島アリーナ武道場

時間：9時

## 人物紹介① 徳 三 宝

—頌徳碑・胸像・墓碑の巻—

「鹿児島県柔道会だより」も今回で第4号を数えることになるが、新しい試みとして、鹿児島県出身の柔道家であり、柔道に命を賭けた先人たちを紹介していくシリーズを企画した。

柔道で功成り名を遂げた先人たちが存在したことを、我々の年代ですら意識の彼方へ押しやっている。ましてや今の若い世代はその名前すら知らない。そこで、時代を超えてこの先人たちに登場願って、後進に発奮して貰いたいと言う切なる願いからこのシリーズを企画した。

始めに登場願うのは大島郡徳之島出身の徳三宝である。今回は、頌徳碑等に焦点を当てた。

折しも、徳三宝の資料を調べている矢先、南日本新聞紙上で、東京都在住の牧野登氏による「東京の中のかごしま」というシリーズが始まった。第1回目は、日本中知らない人はいない「西郷(せご)どんこと西郷隆盛」である。

そして、第2回目が「徳三宝」。われわれ柔道を志す者にとってなんと名誉なことであろう。

このシリーズでは、東京都江戸川の最勝寺にある徳三宝頌徳碑の写真が紹介されているが、これは三宝の13回忌に講道館OB並びに大学関係者によって昭和32年に建てられたものと言う。

除幕式は、三宝の道場である研道館跡に近接した最勝寺の境内で行われ、三宝の門弟である島村一郎代議士を委員長に、名誉顧問嘉納履正、顧問十段三船久蔵、十段飯塚国三郎、十段佐村嘉一郎。そして当日は、早稲田大学、日本大学、拓殖大学、東京大学、講道館七段以上の高段者有志、東京奄美会、研道館の門弟の計904人が集まったという。碑文は旧薩摩藩主島津忠重公によるもので、高さ5メートルにも及ぶ堂々たるものである。

30回忌の昭和49年には鹿児島県柔道会、鹿児島徳之島町会などによって徳之島町亀津の町役場に、33回忌の昭和53年には鹿児島県教育委員会と県柔道関係者によって田上霊園の丘上に頌徳碑が建立さ

れた。現在、徳三宝の墓はこの田上霊園にもある。

また、徳之島の天城町立天城中学校体育館前には徳三宝の胸像がある。

「郷土を興した人」という鹿児島県育英財団による本が、昭和47年に発刊された。小学校高学年向きの副読本であるが、この中に徳三宝の紹介がある。他に「島津忠良」、「新納忠元」、「薩摩義士」、「伊地知季安」、「島津斉彬」、「西郷と大久保」、「五代友厚」、「加納久宜」、「黒田清輝」、「丹下梅子」、「馬場藤吉と野井倉甚兵衛」、「原耕」、「林芙美子」郷土を代表するスターたちである。

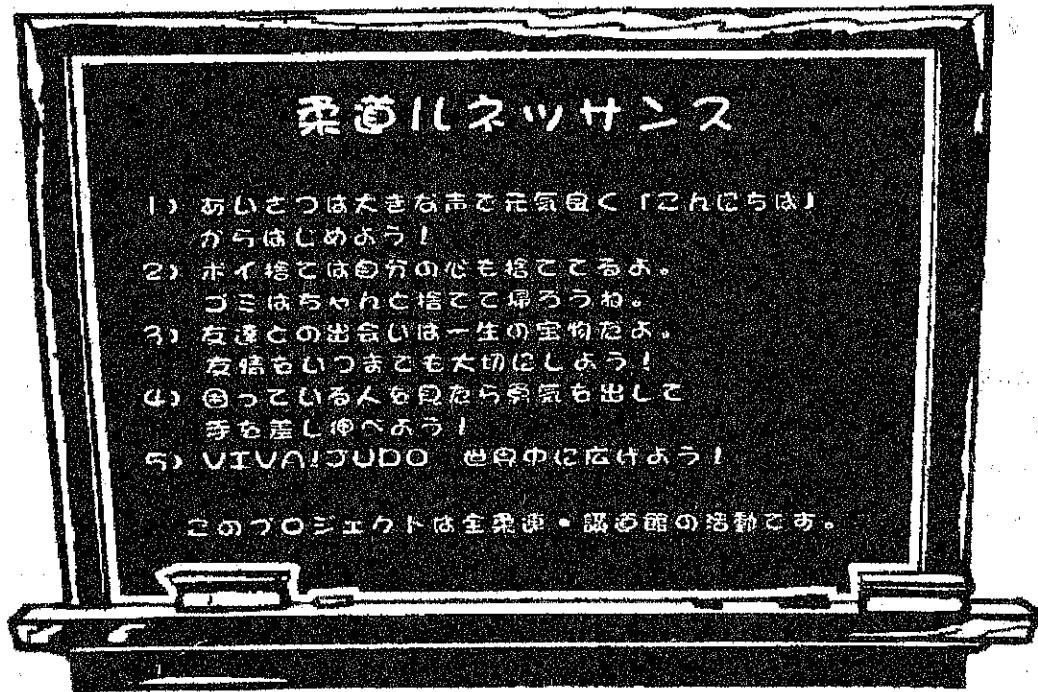
また、歴史資料館黎明館にこれらの人々のコーナーが設けられている。小・中・高校生の皆さん、郷土の偉人と対話できる唯一の場でもあるので、柔道という枠を超えて黎明館へ、是非、足を運んでもらいたいと願うものである。(文責 木原紀幸)



(天城中学校の徳三宝像)

編集後記 北新体制が発足して1年が過ぎました。会長の回顧にもありますように、予期せぬ出来事も起こりました。その最たるものは法元前会長のご逝去に尽きると思います。一方、甲陵高校の活躍、中学校の九州制覇等々嬉しい出来事もたくさんありました。いよいよ2年目に入ります。これからも鹿児島県柔道会をよろしく願いいたします。

(副会長兼総務部長 木原紀幸)



## 柔道ルネッサンスとは

現在の柔道は国際化、競技化、スポーツ化が進み競技成績や勝敗が注目されていますが、21世紀を迎えた今こそ嘉納師範が提唱された柔道の原点に立ち返り、人間教育を重視した事業を進めようとする講道館・全柔連の合同プロジェクトです。

<b>柔道ルネッサンス</b>
嘉納師範の理想とした人間教育

21世紀を迎え、柔道の競技スポーツ化がより進行し、益々その国際的広がりを見せている。先のミエンヘンにおける世界柔道選手権大会では、アフリカ大陸のチュニジアが、中近東のイランが、それぞれ初の金メダルを獲得した。我が国発祥の柔道は、国際的スポーツとしてその地歩を固め、もはや、ある特定の国々のみが高い競技力を誇るという時代は過去のものとなりつつある。

柔道がこのように普及してきた理由は、競技としての魅力だけでなく、創始者嘉納治五郎師範の位置づけられた柔道修行の究極の目的である「己の完成」「世の補益」という教育面が、世界の人々に受け入れられたことに拠るものと思われる。師範は競技としての柔道を積極的に奨励する一方、人間の道としての理想を掲げ、修行を通してその理想の実現を図れ、と生涯を懸けて説かれた。

講道館・全日本柔道連盟は、競技としての柔道の発展に努力を傾けることはもちろん、ここに改めて師範の理想に思いを致し、ややもすると勝ち負けのみに拘泥しがちな昨今の柔道の在り方を憂慮し、「師範の理想とした人間教育」を目指して、合同プロジェクト「柔道ルネッサンス」を立ち上げる。その主目的は、組織的な人づくり・ボランティア活動の実施であり、本活動を通して、柔道のより総合的普及発展を図ろうとするものである。

柔道ルネッサンス実行委員会